



竹林

白河市立五箇中学校だより No.16

発行 令和2年7月17日
発行責任者 校長 菅野 靖



教育目標

自ら学ぶ意欲をもち、創造性に富み、社会の変化に対応できる知性豊かな生徒の育成

目指す生徒像

主体的に学び、確かな学力を身につける生徒〔知〕
広い視野をもち、思いやりのある生徒〔徳〕
心身ともに健康で、生き生きと生活できる生徒〔体〕

福島県陸上競技選手権大会県南地区予選会へ参加



7月11日(土)に郡山開成ヒロセ陸上競技場にて、福島県陸上競技選手権大会県南地区予選会が行われました。本校の陸上部も参加し、3年生にとっては最後の競技会となりました。

県南地区の中体連陸上競技大会が中止となり、その代替えとしての大会が開催されることは、今までの練習の成果を表現する場が選手に与えられ、本当にうれしく思います。今まで、顧問の先生(和田陽輔先生、酒井静香先生)の指導の下に競技力とチーム力の向上を目指し、3年生の部長を中心に、放課後に練習を重ねてきました。今回の大会への意気込みは、「自己ベストを出すこと」「リレーでうまくバトンをつなぐこと」で、個人競技としての自分の壁を超えることと、五箇中学校の看板を掲げチームとしての成果を出すというものでした。3年生の結果としては、自分の競技(800m)での自己ベストは「あと1秒」と及びませんでした。リレー(4×100m)では「バトンを落とすことなく、うまくつなぐことができました」と、満面の笑みで答えてくれました。与えていただいた待望の競技会で力を発揮し、仲間とともに青春の記憶を刻むことができました

【3年生の試合風景】



今回の大会は、コロナ禍の影響で、高校生の競技会に中学生が参加させて頂く形での大会でしたが、大会へ参加できる喜びと今までお世話になった人への感謝を競技中に姿で表すことは、3年生にとっても特別な想いがあったと思います。何よりも、新たな自分を見つめ直し、新たな自分を創造していく節目となったことは、これからの自分を成長させる素晴らしい機会だったと思います。3年生の今後の更なる飛躍を期待します。

3年生、部活動引退です



陸上競技会への参加を最後に3年生の部活動が終了しました。保護者の皆様には、今まで、送迎や応援など多岐にわたるご支援、ご協力を頂きましたことに感謝いたします。部活動は1、2年生にバトンが渡されますが、1年生は「能動的な取組」、2年生は「学校の牽引」、3年生は「新たな自己の創造」に向け努力し、新たな目標をもって活動していきます。今後とも、子ども達の成長のために、ご支援をよろしくお願いいたします。

3年生は、部活動の引退を機に、新たな生活がスタートします。今まで部活動で培った体力や精神力を、自分を開拓するエネルギーとして、9ヵ月後の自分を「想像」し「新たな自己の創造」を目指して欲しいと思います。今までの与えられた機会に感謝し、協力し支援してくれた保護者の方々に感謝し、支えてくれたすべての人々に感謝しながら、これからの自分を成長させられることを期待しています。